

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

4 vol.10



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑



4 vol.10

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

雑誌月間に寄せて	1
雑誌月間にちなんで/会長とロータリーの友	2
2011～2012年度 IM第4組報告	3
2011～2012年度 IM第5組報告	4
米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト報告	5
2011～2012年度 第2660地区 DDFシェア会議報告	6
第2回 クラブ社会奉仕委員長会議を終えて	9
熊澤忠躬パスト・ガバナーを偲んで	10
災害支援プロジェクト報告（第10回）	12
米山奨学委員会／ロータリー財団	14
2012年2月度 会員数・出席報告	15
文庫通信	16
敬弔／お知らせ	

雑誌月間にちなんで 会長とロータリーの友

ロータリーの友

地区代表委員 上 敏郎 (大阪城南RC)



4月はロータリーの雑誌月間です。この月間は、ロータリーの雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

「ロータリーの友」は日本のロータリーが2地区に分割されたとき、分割後もお互いのことを知っていたという思いから両地区共通の雑誌として発刊が決まりました。創刊号は1953年1月号で横組みでした。その後現在のようにヨコ組タテ組に分かれた編集になったのは1972年1月号からです。そして、1980年7月からRIの公式地域雑誌に承認され今日に至っています。横組みにはRIの指定記事、特別月間の特集などロータリーの地域雑誌としての公式的な記事が中心です。縦組みには日本のロータリアンのコミュニケーションに役立つ記事が掲載されています。横組み巻頭には、RI会長のメッセージが毎月掲載されています。価格は210円、3月号の発行部数は9万6千部です。

ロータリアンの三大義務の一つに雑誌の講読があります。日本のロータリアンは会員の身分を保持する限り、「ロータリーの友」を購読する義務を負っています。しかし入会するとき「友誌」の支払いは了承しましたが、必読であるという説明が不十分であったのか、あまり読まれていないようです。そしてそれを問題にする意識も低いと感じています。

雑誌月間には、友について考え、友を有効に活用することについてご協力をお願いします。

まず、会長から、「ロータリーの友」を読むことは会員の義務であることを、あらためてお話いただきたいと思います。

雑誌月間中に会長から「友」についてなんでも結構です日ごろの感想でも話していただけませんか。併せて雑誌月間以外の特別月間には、担当の委員長から

「友」に特集された記事の紹介を是非お願いします。「友」の掲載記事をテーマにフォーラムを企画もご検討いただきたいと思います。「友」が会員の情報の機軸になることでRIの方針や特別月間についての理解も深まりクラブの活性化につながると思います。

「友」についてこれまでのように雑誌委員長任せから、クラブの会長・幹事それに各委員長も分担していただき、例会で「友」に掲載された記事の内容について機会あるごとに取り上げていただくようお願いします。時には先輩からの解説も加えていただければ、入会の浅い会員にはより理解が深まると思います。

皆さんで分担していただいた分、雑誌委員長は自クラブの活動状況や、「友」に対する会員の意見や提言などの収集により時間を割いて下さい。「友」の編集部もそれを歓迎していると思います。

会長が例会で「今月の友には…」と話していただくことで、会員の「友」への関心は変化すると思います。「見直しを進め、新たな第一歩を」は、本年度のガバナー方針です。クラブ会長はじめ役員の方々のご理解とご協力をお願いします。

友の豆知識

- RI指定記事というロゴ付の原稿があります。これはThe Rotarianの記事で、指定されたものを翻訳して掲載しています。これは義務付けられています。
- 会員以外向けの広報誌として「Rotary 世界と日本」を発行しています。10冊で525円です。
- 会員勧誘用の広報誌としては、「Rotary あなたも新しい風に」を発行しています。5冊420円です。
- ロータリーの友編集委員会の名称が変わります。編集という文字を削除して、「ロータリーの友委員会」に変わるようです。

2011~2012年度 IM第4組報告

八尾中央 RC 会長 大橋 生佳
I.M. 実行委員会 委員長 吉村 清明

テーマ：「幸せに生きる」

場 所：シェラトン都ホテル大阪4階 浪速の間

開催日：2012年2月4日（土）13時30分～18時30分

参加クラブ：東大阪RC/東大阪東RC/東大阪中央RC/東大阪西RC/東大阪みどりRC/八尾RC/大阪柏原RC/八尾東RC/
大阪ネクストRC/八尾中央RC

参加者数：226名（登録会員総数390名）

2月4日IM第4組インターシティーミーティング開催に皆様方のご協力に感謝致します。

本年度のRIのテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」、更に3つの強調事項として「家族・継続・変化」であり、又、岡部ガバナーの地区テーマ「見直しをすすめ、新たな第一歩を」であります。そこで、RIと地区テーマに沿い、今回は、障がい者理解の少ない日本社会で「知的発達障がい」を負い、自己主張の機会や他人から評価を受けることの少ない人達の、心の中を見つめ、人々は「何が本当に幸せなのか」「心の豊かさ・安らぎ」とはなんだろうか。又、障がいをもちながらも逞しく生きる姿に私達は本当に理解しているだろうか。そこで素直なテーマとして「幸せに生きる」とは何かを考えることと致しました。なお、今回はSOへの寄付、著書購入に多くのご協力有難う御座いました。

基調講演は、細川佳代子様に「スペシャルオリンピックス（SO）の魅力」～可能性への挑戦～をテーマでご講演をいただき、この（SO）とは、知的発達障がい者による世界規模のスポーツの祭典。発祥の地アメリカではパラリンピックを凌ぐ95%の認知度があり、世界大会には各国や地域から数千人規模のアスリートとボランティア達、著名人らが集い、共に生きる喜びを謳歌します。2005年2月、この第8回冬季世界大会が長野で開催されました。

ケネディ家の秘密から端を発した、この（SO）の真実とその感動的な姿と意義、それを支える人達の奮闘を映像で紹介され素晴らしい感動を与えていただきました。

細川様は「知的発達障がいの有る人達が人口の2%前後生まれてくるのは、その子の周りの人達に優しさ、思いやりを教える為に神様から与えられた贈り物。彼らが幸せになるか不幸になるかは、周りの人達の理解とサポート次第です」。この話を聞きショックと驚きが（SO）活動の原点。行政、関係福祉団体から無視され、障がい者理解の少ない日本社会でボランティアによる活動で全国に普及することは至難の業。反対意見、批判、中傷、悲観論、慎重論と冬季世界大会が長野での誘致までは孤独との戦いでしたが、同時に素晴らしい自己実現との出遭いの旅でした。アテネでの点火から500万人のトーチランのおかげで全国に活動の輪が広がり、開催地長野の皆さんの真摯な努力と情熱により大成功に終わりました。この活動を通じて、人間の尊厳、生きるということ、幸せとは、そして人として一番大切なことは何かを学ぶことが出来ました。

パネルディスカッションのテーマ「幸せに生きる」で進めました。

パネリスト 生田神社宮司（第2680地区パスト・ガバナー）加藤隆久氏

パネリスト 社会福祉法人 日本ライトハイス専務理事 橋本照夫氏

パネリスト 第2660地区 ロータリー財団委員長（内科医）福家 宏氏

コーディネーター 美原病院名誉院長（精神科医） 柳 雄二氏

加藤氏：「神道とは幸せを分かち合う喜びを求める生き方」であり、人間として正しく生きていくことを追求する信仰で、「幸せに生きる」ためには、支えあい等共同体的側面、鎮守の森の持つ価値観や力、役割分担や助け合い等、生きがいの側面、思いやり・感謝やおそれ・救いの文化・多世代交流である。

橋本氏：社会の障害者や健常者などすべての人々が助け合い、手を携えて一緒に歩み、一緒に生きる社会の実現が大切。一人ひとりの人権が尊重され、その人らしい人生を送ることが出来れば、人は幸せを感じる。盲導犬を提供し、自分の意思で「行きたいところへ行けるよう」手助けしている。

福家氏：ロータリーのポリオ撲滅活動はRIが途上国や紛争地域で始め、WHOなどと共同活動を展開。2006年には4カ国のみとなる。2008年以降ゲイツ財団が総額4億500万ドルをロータリーに託し、ロータリアンはこれに応え2億ドルを集める活動を開始。ポリオは残り1%まで減少。インドは過去1年間で発症0を記録した。

柳 氏：昨年、国家戦略相は、国民の幸福度指標を発表「心の幸福感が基本」又「経済・健康・社会」との関連性の3つの指標を取り上げ、困っている人々を助けることとなった。昨年、ブータン国王の来日で国民総生産より国民総幸福度を重視するとの表明が出された。健康、長寿は幸せの大きな1つの条件だが、健康とは言えなくとも、その人らしく生きていれば、幸せに生きていると言うことになるのでしょうか。

ご参加の皆様方もそれぞれの感じ方をされたと思います。そのことが何かの形でお役に立てば幸いです。



2011~2012年度 IM第5組報告

大阪梅田 RC 会長 稲本 一夫
I.M. 実行委員会 委員長 秋元 延介

テーマ：「若い」ー認知症と長寿社会ー

ホスト：大阪梅田RC

日時：2012年2月18日（土）12：30～18：00

場所：新阪急ホテル

参加者：岡部泰鑑G・大森慈祥PG・神崎茂PG・横山
守雄PG・大谷透PG・松本新太郎PG・森康次
IM第5組G補佐・丹羽健二IM第7組G補佐・
IM第5組各RCメンバー・大阪難波RCメン
バー

出席者数：199名

日本の高齢化は世界でも類のない速さで進み、認知症は年齢とともに増加し65歳以上では、患者数は200万人（8%）を数えます。今年度のRIの強調事項のひとつである「家族」を中心に、患者をどのように支え、命の尊厳を失わずに最後まで生きるにはどうしたらよいかを考えることにしました。

関根友実さん（元朝日放送アナウンサー）の総合司会で、まず基調講演「認知症の予防、治療、療養最前線」を長尾クリニック院長、関西国際大学客員教授 長尾和宏氏が話されました。認知症には初期、中等度期、高度期があり、高度認知症になると着衣の選択ができなくなる、最近では糖尿病性認知症が増えている…と解説されました。早期発見、早期治療

が大切なこと、治療にはアリセプトが用いられますが、進行を遅らせる薬であって、新しい薬も出ていますが、まだ根治薬はありません。認知症の中核症状は最近のことを忘れることで、食事をしたことを忘れ、食べ過ぎて糖尿病になることもあります。周辺症状は徘徊や憂鬱症で、妄想で暴言を吐いて周囲の人たちを困らせます。認知症の人は最後には食べられなくなります。日本ではいま40万人の胃瘻造設患者がいますが、安易に胃瘻を選ぶべきではありません。認知症には医師とケアマネージャーが連携せねばならないと結ばれました。

パネルディスカッションでは熊田梨恵さん（ジャーナリスト・社会福祉士）から介護のなまなましい体験が紹介され、丸尾多重子さん（つどい場さくらちゃん理事長）から高齢者の住める環境と介護するひとの精神的安定が必要であること、相原克偉氏（大阪梅田RC会員・歯科医）から口腔機能維持の大切さと、認知症早期に名前入りの義歯を作るなど具体的な提案もありました。終了後の交流会では、講師と出席者の盛んな交流が見られました。

今回の催しはパネリストと聴衆が一体化し、非常に有益であったとガバナー以下出席者からの高い評価に満足しています。



米山奨学生ふれあい スピーチコンテスト報告

米山奨学委員会

委員長 武島秀吉 (大阪御堂筋 RC)

日時：2012年2月18日(土) 14:00～16:00

場所：大阪国際交流センター

参加者：【審査員】近藤 R I 理事、高島 G E、福家 G N、境代表幹事、武島委員長、林芳 (東京米山友愛 RC)、
朴学友会会長 (以上7名)

田中、西谷、吉田各副委員長、小山、河内、福田、西邨、近藤各委員

参加者 60名

昨年から始まったスピーチコンテスト。今回は、奨学生のスピーチはもちろんのこと、各クラブが奨学生にどの様に対応していたかを表現する場として、クラブの時間も用意してみました。

と言いますのも、クラブによって、米山奨学生に対する想いも色とりどりあると思われるので、その辺りも見てみたかった訳であります。

結果、皆さんそれぞれに工夫をして、奨学生の為に動いていただいている事が解り、嬉しくなっておりました。なかでも、この度スピーチで優勝された大阪なにわRCの張 夏荷さんのスピーチには、クラブの方の熱い想いが込められておりました。クラブのカウンセラーさん中心で、張さんの誕生日に、彼女の誕生年のお札硬貨を探し出してプレゼントをするという、お洒落なもの。とても、おっちゃんロータリアンが考えた様には思えない、素敵なプレゼントでした。

張さんも、クラブメンバーの気持ちをシッカリ受けとめ、心からの感謝で、スピーチされている姿に会場の皆が感動しました。

これからも、こんな素晴らしい話が各クラブで聞ける事を願ってやみません。

- | | |
|-------|---|
| ◆最優秀賞 | 張 夏荷 (中国) 「米山奨学生として感じたこと」
大阪市立大学修士課程 世話クラブ：大阪なにわRC |
| ◆優秀賞 | ユオン・バン・ビン (ベトナム) 「私の人生目標」
大阪大学大学院博士課程 世話クラブ：池田RC |
| ◆特別賞 | タイ・ジャユ・アンナ (シンガポール) 「日本留学の成果」
大阪大学大学院博士課程 世話クラブ：大阪城南RC |
| ◆特別賞 | 孫 宏亮 (中国) 「花火が咲いた時」
大阪ハイテクノロジー専門学校 世話クラブ：大阪東淀ちゃやまちRC |



2011~2012年度 第2660地区 DDFシェア会議報告

ロータリー財団委員会
委員長 福家 宏 (八尾中央RC)

日 時：2012年2月9日(木)

場 所：G事務所会議室

出席者：岡部泰鑑G、ロータリー財団部門顧問横山守雄PG、高島凱夫GE、宮里唯子次年度地区財団FVP委員長、古澤照明地区国際奉仕・WCS委員長、川上大雄地区社会奉仕委員長、福家宏地区財団委員長、溝畑正信地区財団副委員長、杉村雅之地区財団情報・増進委員長、川田隆地区財団人道的補助金委員長、牧尾晴喜地区財団奨学金・学友委員長、小林哲次年度地区国際奉仕・WCS委員長、初木賢司次年度地区社会奉仕委員長、吉川仁育次年度地区財団人道的補助金委員長、北埜登次年度地区財団奨学金・学友委員長、田中義久次年度地区研究グループ交換委員長、村橋義晃2012-13年度地区代表幹事、山田正雄2013-14年度地区代表幹事

シェア・システムShare System ロータリー財団に寄付をしますと、その金額に応じて3年後に50%がDDF（地区財団活動資金）、50%がWF（国際財団活動資金）に配分され、地区/クラブはこれらの資金を様々なロータリー活動に利用することが出来ます。さらにDDFとWFには通常は恒久基金の投資収益の50%が加算されます。このような仕組みをシェア・システムと呼びます。

DDFシェア会議 2013年-2014年度に配分される新規DDFは2010-11年度の年次寄付と恒久基金投資収益、それぞれの50%です。この金額のさらに50%が新地区補助金となります。残りの50%に前年度（2012-13年度）の繰越金を加えた合計金額が2013-14年度に新地区補助金以外の部分で利用可能なDDFということになります。2年先の2013-14年度にこのDDFを人道的分野、教育的分野、寄贈分野にどのように配分するかを決定するための会議を地区Gと地区財団委員会が開催します。これがDDFシェア会議です。この会議は例年GEが国際協議会からご帰国されたあと、PETSまでに開催されます。G、GE、GNにご出席頂き、ご指導を頂くと共に次年度、次々年度の方針や展望についてお話を頂き、これに基づきDDFの配分について協議し、決定を致します。

次々年度のDDF配分額 2010-2011年度の年次寄付

の50%は358,960.48ドル。（これに恒久基金の利息の50%が付加されますが、金額が未報告）新地区補助金の授与額は恒久基金の利息の50%を加えるとほぼ18万ドル程度になるものと考えられます。新地区補助金以外に配分可能なDDFは2012-2013年度の繰越金額106,274.41ドルを加算しますと、29万ドル程度と予測されます。

岡部G 今回のDDFシェア会議はFVPの実施年度のDDF配分を決定するという重要な会議となりますが、この会議が有意義なものとなることを期待致します。

高島GE 1月14日に出発し、16日～21日まで国際協議会に参加してきました。田中作次氏が日本人で30年ぶりのRI会長エレクトとなられ、開会の国歌は米国、インドの国歌に続き「君が代」となりましたのでカ一杯歌いました。田中作次次年度RI会長のテーマはPeace through Service「奉仕を通じて平和を」です。以下、田中会長エレクトは次のようなメッセージを寄せられました。『この平和は戦争に対する平和闘争と言うようなことでは無く、一人一人が穏やかな心で奉仕することで平和を築いて欲しいというコンセプトです。日本人には自分よりも他人のニーズを優先するという優しい心があり、この心を生かして奉仕を実践しましょう』『次年度はベルリンとホノルル、広島で平和フォーラムを開催します』とのことで、特に若い人々の多数の参加を求めておられます。会員増強についてもお話があり、日本のロータリアンの減少をカルヤン・バナジー会長とともに憂いておられ、2015年には世界のロータリアンを130万人にまで増やしたいとのご意向を示されました。

ポリオ撲滅関連について①ロータリー2億ドルのチャレンジは1月中に2億620万ドルに達したこと②ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団がこれにこえて5,000万ドルの追加補助金を拠出したこと③インドで昨年1月13日以後、ポリオの新規発症ゼロが記録されたことをご報告されました。

DDF配分協議 溝畑次年度地区財団委員長、宮里次年度地区財団FVP委員長、財団部門地区4委員会各委員長（GSE委員会は副委員長）、及び古澤地区国際奉仕・WCS委員長、川上地区社会奉仕委員長から、それぞれ今年度の実績を踏まえて、次々年度のDDF配分について意見が述べられました。

①地区もクラブもチームを組んでFVPを推進しては

どうか

- ②クラブ財団委員長の役割は寄付金集めではなく、財団プログラム推進と並行すべき
- ③地区財団部門各委員会がこれまで積み上げて来た経験的知識は豊富で、これを是非とも生かして、あまり臆することなく本地区が国内でリーダーシップを発揮出来るくらいのことを考えて欲しい
- ④地区国際奉仕・WCS委員会、地区社会奉仕委員会、地区財団人道的補助金委員会は地区財団FVP委員会と情報を共有し、コンセンサスを基に協力し合いながら活動することが必要
- ⑤新地区補助金の配分ルールは、1人当たりの年次寄付額により按分するという考え方も必要
- ⑥人道的プログラムについては着手し易いが、奨学金、職業研修については一定のルール作りが課題
- ⑦月に1回程度、地区財団FVP委員会と財団部門、奉仕部門委員会は合同委員会の開催が必要
- ⑧地区としてFVPに向けて進行のスケジュールを早期決定すべき
- ⑨奨学金については問題山積。新地区補助金利用の奨学金の場合、地区で選考した奨学生とクラブ主導でクラブが選考した奨学生の間での整合性の問題は簡単ではない。地区財団奨学金・学友委員会単独では何も決定出来ない
- ⑩地区財団人道的補助金委員会としては次年度地区補助金は既定の通り56,000ドル、次々年度は16万ドル程度を考えている
- ⑪地区国際奉仕・WCS委員会としてはクラブに予算規模の大きなプロジェクトを立案してもらい、FVPに繋げていきたい
- ⑫今後も東日本震災復興支援を積極的に進めたい。支援方法については十分検討する

横山PG（財団部門顧問） 今年度、次年度の活動やDDF配分はよしとして、今日は次々年度をどうするかということが重要です。パイロット地区であるD2690の鳥居滋地区財団委員長は今年度国際協議会の研修リーダーを務められた方ですが、鳥居氏は『グローバル補助金の利用は現段階では困難と言わざるを得ない。地区やクラブに海外プロジェクトの企画力と交渉力を兼ね備えたロータリアンが居ないことにはロータリー財団のコーディネーターと交渉を進めるのは容易ではない』『従来の

マッチング・グラントとは比較出来ないほど提案から申請、承認、事後監査のプロセスが困難』と言われてしています。D2690では慎重を期して当面は地区内プロジェクトを中心に新地区補助金利用を主に活動されるとのことです。本地区もこれから先、パイロット地区の様子をよく検討しながら進めていくという慎重姿勢が必要でしょう。

福家地区財団委員長 例年であれば1月末から2月の初めには、ロータリー財団より次々年度本地区の利用可能なDDFのデータがシェア・キットとして送付されてきますが、今年は6月になるらしく詳細な金額は不明のままの会議となりました。さらに、今後FVP実施までに制度に変更が加えられる可能性を含めて不確定要素が大きいため、今回は2013-2014年度のDDF配分の実数については寄贈分野のみを決定するに留まりました。従来のように、地区補助金に何ドル、マッチング・グラントのためのDDFに何ドル、奨学金に何ドルという配分を決定してしまうと、後に変更を迫られることになり、却って混乱を招くので得策ではないという判断もありました。

寄贈分野については、平和フェローに25,000ドル、ポリオ・プラスに40,000ドルと決定致しました。

横山顧問PGより

- ①岡部年度基本方針を評価
- ②2012-2013年度DDFシェアについては高島GNの方針を尊重すべき
- ③未来の夢計画を見据えてDDF配分を考慮すべき
- ④DDFが十分利用できていないまま、次年度への繰越額が多くなっている現実を考慮してDDFをもっと有効に利用して個々のロータリアンの負担が増えないようにすべきなどのコメントを頂きました。

DDF配分額決定 これまでの協議に基づき、2012-13年度のDDFの配分額が決定されました。結果は、P8表の通りです。

高島GNより 2012-13年度について漠然としたアイデアは持っているが、今後検討を重ねて色々なプランをそれぞれ明確にしていきたいと考えている。上記の通り今年度DDFシェア会議では活発な意見交換がなされ、実りある会議となりました。

D-2660 DDFバランスシート

2012年2月9日シェア会議

ロータリー財団委員会

単位: US\$

	2011-12年度予算	2012-13年度予算	2013-14年度予算
前年度DDF繰越額	194,577.46	162,635.49	106,274.41
TRF新規DDF配分額	279,558.03	280,138.92	358,960.48
DDF利用可能総額	474,135.49	442,774.41	465,234.89

配分・分野	2011-12年度予算		使用見込み		2012-13年度予算		使用見込み		2013-14年度予算		使用見込み			
〈人道的分野〉												〈新地区補助金〉\$180,000.00		
地区補助金	50,000		55,000		56,000		56,000		人道部門					
WCS MG	65,000		65,000		100,000		100,000		奨学金					
〈教育的分野〉	奨学生@26,000				奨学生@27,000				VTT*					
国際親善奨学生	8名	208,000	3名	78,000	7名	189,000	4名	108,000	合計①					
〈プログラム強化〉												〈1/2DDF+50%PFE+前年度繰越金〉		
GSE語学研修	2,500		2,500		2,500		2,500		GG*用					
GSE派遣					5,000		5,000		奨学金					
〈寄贈分野〉												VTT*		
ロータリー平和フェロー	0		25,000		25,000		25,000		〈寄贈分野〉					
ポリオ・プラス	86,000		86,000		40,000		40,000		平和フェロー	25,000				
分野別・配分総額	411,500		311,500		417,500		336,500		ポリオ・プラス	40,000				
次年度への繰越予定額	62,635.49		162,635.49		25,274.41		106,274.41		その他	0				
												合計②	65,000	
												配分総額	65,000	
												次年度への繰越額(予定)	400,234.89	

* VTT = Vocational Training Team (職業研修チーム)

* PFE = Permanent Fund Earnings (恒久基金収益)

* GG = Global Grants (グローバル補助金)

第2回 クラブ社会奉仕委員長会議を終えて

社会奉仕委員会

委員長 **川上大雄** (大阪ユニバーサルシティRC)

2012年2月4日(土)、薬業年金会館において第2回クラブ社会奉仕委員長会議を開催しました。

本年度は岡部Gの東日本災害支援を地区として全力を挙げて行うという号令のもと、災害支援プロジェクトを立ち上げられ、この半期を経て、どんな成果が災害プロジェクトを通してあったのか、また、今後の問題点などを上半期の報告と下半期の取り組みとして、岡部G、災害支援プロジェクト井上委員長よりお話していただき、また、実際にどういった支援を具体的にしたかを映像・資料をまじえ、くずはRC、交野RC、大阪リバーサイドRCよりご報告いただきました。その他のプロジェクトはガバナー月信vol.7での井上委員長の災害支援プロジェクト報告(第7回)をご参照いただければと思います。また、財団法人道的補助金委員会より川田委員長に財団法人道的補助金の上半期実績と今後の取り組みについてお話いただきました。

さて、当地区社会奉仕委員会としてはこの災害プロジェクトをバックアップすべく“東北へメイクアップに行こう”キャンペーンを繰り広げさせていただいております。本当に数多くのクラブ、ロータリアンの皆様に東北に出向いていただき、東北の各クラブ

にメイクアップしていただきましたこと、改めて御礼申し上げます。最初、やはり、顔が見えない状況とテレビで見ているだけではわからない被害の甚大さを目の当たりにし、東北の各クラブの方々との話を通して、今何をすべきかが見えてきたと思います。

また、当委員会と第2520地区災害支援特別委員会との合同会議を仙台にてさせていただいた時にも、大阪の人達が、そこまで東北の事を考えてくれたのかと、顔と顔とがわかるロータリーの絆を改めて感じた次第であります。

被災地では内陸部においては、ある程度の復興が落ち着いていますが、沿岸部、福島原発などのエリアでは全てが遅々と進んでいない状況にあります。また、支援の内容も震災直後の緊急的なものから、メンタルケア、雇用の問題等、非常にデリケート且つ難しい問題に直面しております。本当の復興はまだまだこれからであり、我々ロータリアンとしてやれるべきこと、やらなければならないことが、いっぱいあると思います。

どうか、各クラブにおいても、今後もどのような取り組みをすべきかを、引き続きご検討いただきたいと思います。



熊澤忠躬パスト・ガバナーを 偲んで

2010~2011年度IM第3組
ガバナー補佐 西原房三(守口RC)

2012年2月9日、多くのロータリアンから敬愛された熊澤PGが、86歳の生涯を終えられました。

1993年守口RCからガバナーを出す事が決定的となり、熊澤先生が苦渋の決断だったと思いますが、引受けられました。当時のG事務所は弁天町にありガバナーが代わると一代毎に事務局も代わるので、守口RCの事務員が出向しました。

地区代表幹事になられた小西豊和氏、1994年当時会長の私共々、全会員にとって初めての経験でしたが、一丸となって勉強しサポートしました。この時ほどクラブ全体が盛り上がった事はありません。

熊澤PGは地区の予算編成他諸問題を的確に把握され改善に努められ、阪神淡路大震災では震災遺児里親制度を立ち上げられました。

1986年会長時、10数名の第5次守口RCフィリピンネグロス島医療奉仕団団長として行かれ、当時まだゲリラ活動の活発な地域でしたが、無事大任を果たされました。

同年、比国アキノ大統領来日歓迎午餐会に日比友好功労者の一人として当時の中曽根康弘首相より官邸に招かれた事が新聞に報道されました。

PGになられてからは、一ロータリアンに徹し会員間の調和に気配りされ、例会でも酒席でも気さくな先輩として全会員に慕われる存在でした。熊澤PGに一番身近におられた小西豊和地区代表幹事に思い出をお聞きしましたところ、熊澤PGは医学者であると同時に政治家と経営者の素質を兼備されている方でした。氏は陸軍士官学校卒だけあって抜群の統率力を持たれていました。趣味のゴルフ、読書、麻雀、又嗜好は酒、タバコで、小料理屋のカウンターに座り、杯を重ねる程にタバコをふかしながら、呵々大笑いする氏は周囲に楽しい雰囲気醸し出されていた様子が今でも目に浮かびます。又、考えついた事はすぐに発表し、且つ行動される方で、財政困難であった地区会計を一に増強、二に増強と拡大に努め、次期に引き継ぎの時には多大な繰越金を残し財政の基盤を立て直したのは熊澤Gの獅子奮迅の働きぶりを如実に物語っています。走り出したら止まらないガバナーに暴れん坊将軍と名付けておりました。まさに巨星墜つる感に胸の痛みを覚えていますと、語ってくれました。

熊澤PG、安らかにお眠り下さい。

熊澤忠躬会員



熊澤忠躬パスト・ガバナー

生年月日	1925年 8月10日	
学歴	1950年 3月	京都大学医学部卒業
	1957年10月	医学博士授与
職歴	1951年11月	京都大学医学部耳鼻咽喉科学教室助手
	1956年 5月	高知市民病院耳鼻咽喉科部長
	1958年 4月	関西医科大学耳鼻咽喉科学教室助教授
	1967年 8月~1968年12月	西独ヴェルツブルグ大学ヘアレキサンダーフンボルト 奨学生として講師待遇にて留学
	1972年 3月	関西医科大学耳鼻咽喉科学教室教授
	1993年 4月	関西医科大学名誉教授
賞	1985年 5月	第3回国際フィルムフェスティバルにて銅賞
	1991年 5月	第5回滲出性中耳炎国際シンポジウム(米国フロリダ)にて“Guest of Honor”を受賞
	1992年11月	北京長城病院耳鼻咽喉科名誉教授
学会等役職	1971年~	日本耳鼻咽喉科学会評議員
	1982年~1987年	日本耳鼻咽喉科学会理事
	1989年 5月	第90回日本耳鼻咽喉科学会総会会長
ロータリー歴	1977年 2月 9日	守口RC入会
	1986~1987年度	守口RC会長
	1995~1996年度	第2660地区ガバナー
	1996年~	第2660地区諮問委員会委員
	2002~2003年度	第2660地区社会奉仕委員会顧問
	2003~2004年度	第2660地区米山奨学部顧問
	2003~2004年度	2004年国際大会医療部会部会長

熊澤忠躬パスト・ガバナーを 偲んで

国際ロータリー第2660地区
ガバナー・エレクト 高島 凱夫 (大阪中之島 RC)

先生、お前か！とおっしゃらないで下さいね。2月10日の諮問委員会で、告別式での弔辞の話が出まして、パスト・ガバナーの皆様が、それは高島が一番適任だ、と言うことになり、若輩の私がここに立っています。

熊澤先生との最初の出会いは、先生が西ドイツ・ビルツブルグ・ウルシュタイン教授のもとからご帰国になられた頃、私が関西医大5回生の頃かと記憶しています。

それから44年、関西医大耳鼻咽喉科教室、ロータリーで本当にお世話様になりました。特に、熊澤教室創設の頃、先生から第1号の学位を頂戴いたしました。また、2年数ヶ月に及ぶ西ドイツ・ハンブルクへの留学にも行かせていただき、今も楽しい思い出として、家族で話をするのがしばしばあります。2012～2013年度のロータリー研究グループ交換は、そのハンブルク地域第1890地区と行われることが決まっています。

教室での先生との思い出を語り始めると、いくら時間があっても足りません。現在のロータリーでの立場も、先生と横山守雄パスト・ガバナーのご推挙によるものです。

熊澤パスト・ガバナーは、1977年2月に守口ロータリークラブにご入会になられました。チャーターメンバーでいらした、関西医大 岡宗夫元理事長兼学長が、大学をお辞めになるときに、守口市と大学とのパイプ役に、とパスト・ガバナーが引っ張り出されたようです。守口ロータリークラブ創立50周年記念誌を拝読していると、ご入会当時はあまり熱心なロータリアンではなかったようです。ある時「ロータリーの究極の目的は、世界平和である」ということに気づき、共鳴を受けた、とお書きになっています。次年度、30年ぶりの日本人国際ロータリー会長 田中作次さんは「奉仕を通じて平和を」をRIのテーマとされました。パスト・ガバナーがお聞きになったら「我が意を得たり」といろいろお教えをいただけたと思います。それを機に奉仕活動に邁進され、フィリピン・ネグロス島への医療奉仕活動、地区委員会への参加などを経て、1995年7月にRI第2660地区ガバナーにご就任されました。ガバナー任期中は、その年の1月に発生した阪神淡路大震災で両親を亡くした子供たちの里親制度を実施されまし

た。その子供たちのほとんどが成人を迎え、昨年最後の一人が昨年成人を迎えたと聞いています。チャリティコンサートも開催されました。

自宅が極々近くということで、何かの会合の折には、樟葉までよく一緒に帰らせていただきました。その車中、大学のこと、ロータリーのことなど、本当にいろいろなことをお教えいただきました。しかし、まさか今の立場になるとは思いませんでしたので少し忘れていたこともあります。お教えを守りながら、ガバナー年度、人生を乗り切ろうと思いません。「いったじゃろうが！」とお叱りの声が聞こえてくるような気がします…。

昨年11月の関西医大耳鼻咽喉科学教室 開講80周年記念式典の頃、少し体調を崩された折、パスト・ガバナーらしからぬお手紙をいただき「キッと目を見据えて物事に立ち向かう先生の方が良いですよ」と申しあげましたところ「大丈夫、しばらく休んだので、気が湧いてきた」とのお返事をいただき、また12月の地区諮問委員会にもご出席され、お酒も召し上がっていらしたので少し安心していました。1月26日、サンディエゴでの国際協議会から帰国の報告を申し上げ、公式ネクタイをお渡ししたときは「頼むよ。地区大会楽しみだな！」とおっしゃって下さいました。ガバナー年度を見ていただけず、本当に悔しい気持ちです。

お孫さんの医大ご卒業、次年度の地区大会を心待ちにされておられましたのに…。

先生、高原の親父、それに大辻夫妻も最近向こうに行きました。高原亭の面々が麻雀パイを揃えて待っていると思います。3月のPETS、4月の地区協議会、12月の地区大会には、麻雀をちょっと中断し、大阪国際会議場に姿を見せて、出来映えを見て下さい。先生がパスト・ガバナー席にお座りいただいていると思ひ会議を進め、お褒めのお言葉をいただくよう、ホストクラブ全員で立派なものにしたいと思います。

44年間、ご指導ありがとうございました。

安らかに、お休み下さい。

(弔辞を掲載)

災害支援プロジェクト報告(第10回)

災害支援プロジェクト

委員長 **井上 暎夫** (千里RC)

3月12日現在の寄付金受入状況、地区基金申請案件承認・支出済状況、現在の地区寄付金残高を報告いたします。東日本大震災が起きましたから、早一年が過ぎ去り、ややもすると「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ではありませんが、被災地支援に対する「熱情」がやや弱くなって参ります。地区基金は、今期で残高が0になる位、皆様方のご支援を頂いておりますが、各会員皆様方の更なるご支援とご協力の程よろしくお願ひします。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2012年3月12日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港)) ※松本年度の繰越し	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン) ※松本年度の繰越し	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC ※松本年度の繰越し	454,200	
4	摂津RC ※松本年度の繰越し	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	IM第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねざきRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとまひと削り」お賽銭寄付	189,394	
27	大阪城南RC	20,000	
28	大阪咲洲RC	24,064	
29	大阪帝塚山RC	600,000	
30	大阪城南RC	5,534	
31	大阪西南RC	160,000	
32	大阪城南RC	8,310	
	利息	2,738	
33	大阪東南RC	500,000	
34	大阪城南RC	15,423	
	合 計	17,782,281	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2012年3月12日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ローターアクトクラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守口イブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
24	大阪東南RC	中古小型漁船寄贈	2,500,000	2,000,000
25	交野RC	餅つきセット寄贈	894,390	250,000
26	大阪フレンドRC	心のケアプロジェクト	2,450,000	500,000
27	大阪帝塚山RC	軽消防自動車寄贈	5,175,450	606,548
28	高槻東RC	須賀川地区へ浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
29	大阪鶴見RC	大船渡プレハブ横丁への支援	7,340,000	450,000
30	大阪そねざきRC	医療用具寄贈	1,966,600	966,600
31	大阪イブニングRC	冷蔵設備寄贈	1,884,120	1,684,120
32	茨木西RC	寝具寄贈	3,000,000	1,200,000
33	摂津RC	学校用備品寄贈	2,119,908	500,000
34	大阪東淀ちややまちRC	発電機寄贈	945,000	695,000
35	茨木RC	ふれあいコンサート支援	753,500	553,500
36	高槻RC	浄水器寄贈	5,974,500	1,300,000
		合計	87,012,615	30,201,954

(2) 現在の地区寄付金残高 (3月12日現在)

① 直前ガバナー会から地区への返金		72,845,511円
② 地区内36クラブへ返金		37,224,413円
③ 地区内46クラブから預けられた額 (①-②)		35,621,098円
④ 地区内クラブからの寄付金	34件	17,782,281円
⑤ 地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金	36件	30,201,954円
⑥ 2520地区 支援金		10,000,000円
⑦ 2530地区 支援金		5,000,000円
⑧ 送金手数料		32,100円
⑨ 地区大会募金箱 (北上西RCへ送金)		69,472円
⑩ 地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金)		189,394円

地区寄付金残高 (③+④) - (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩)

7,910,459円

米山奨学委員会/ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2012年1月末	全国寄付金合計額	945,031,483円 (前年度比3.91%減)
"	第2660地区寄付金合計額	57,284,886円 (前年度比0.12%減)
2012年1月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区	67,234,330円
	2. 第2660地区	57,284,886円
	3. 第2590地区	53,407,000円
	4. 第2750地区	52,441,850円
	5. 第2760地区	48,790,001円
	6. 第2770地区	44,061,500円
	7. 第2580地区	41,638,617円
	8. 第2820地区	33,337,020円
	9. 第2690地区	33,162,451円
	10. 第2780地区	33,037,250円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。

(2012年1月)

氏名	回数	クラブ名
田川 和見	1回目	大東 RC
中村 眞也	2回目	大東 RC
小林 誉典	2回目	大東 RC
上田 正義	3回目	大東 RC
木田 眞敏	4回目	大東 RC
辻 幸雄	4回目	大阪中央 RC

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2012)

地寄 剛史	豊中千里 RC	1月
松岡 一郎	大阪 RC	1月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2012)

森脇 寛	1回目	大阪中央 RC	1月
田中 壽秋	2回目	大阪なにわ RC	1月
久保 義誓	2回目	茨木 RC	1月
松村 榮一	2回目	大阪本町 RC	1月
安藤 康雄	2回目	大阪本町 RC	1月
常楽寺 喜雄	8回目	東大阪東 RC	1月

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2012)

東野 達雄	茨木東 RC	1月
-------	--------	----

文庫通信 (294号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリー創立記念日にあたって

- ◎「70周年に当り創世期のロータリーを憶う」 平島健次郎 1975 7p (ロータリー入門)
- ◎「これがロータリーだ」 直木太一郎 1983 41p (私のロータリー. 50年)
- ◎「平凡で偉大なロータリー精神」 末永直行 1972 20p
- ◎「シェルドン…忘れ得ぬその名」 ジョン O. ナットソン：神崎正陳 訳 1998 12p
- ◎「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」 鳴海淳郎 2000 9p
- ◎「ロータリー進化論」 前原勝樹 1985 19p
- ◎「ロータリーの組織と奉仕」 深川純一 2001 68p
- ◎「ロータリー広報乃王道」 佐藤千壽 1997 34p
- ◎「米山梅吉と日本のロータリー(抄)」 長井盛至 1983 31p
- ◎「四つのクラブの七つの驚き」 安積得也 1977 44p (おゝロータリアン)

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「我が自叙伝」 ハーバート J. テーラー著：菅野多利雄 訳 1990 219p

[申込先：緑ヶ丘病院 FAX (022) 365-3000]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

宮田久嘉 会員

(枚方RC)

2012年2月15日逝去(享年85歳)

会長、幹事

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

笠井勝巳 会員

(大阪天王寺RC)

2012年2月22日逝去(享年72歳)

会長、副会長、理事、会計、出席委員長、会報委員長、会員増強委員長

職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、環境保全委員長、環境資源委員長

青少年委員長、ロータリー財団委員長、世界社会奉仕委員長

米山委員長、ロータリー情報委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

榎木 勇 会員

(大阪天満橋RC)

2012年3月1日逝去(享年84歳)

健康委員長

米山功労者

ポール・ハリス・フェロー

三宅一嘉 会員

(大阪東南RC)

2012年3月2日逝去(享年72歳)

会長、幹事

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	納多	寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期
2012年8月11日(土)～16日(木)
年末年始
2012年12月29日(土)～
2013年1月6日(日)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

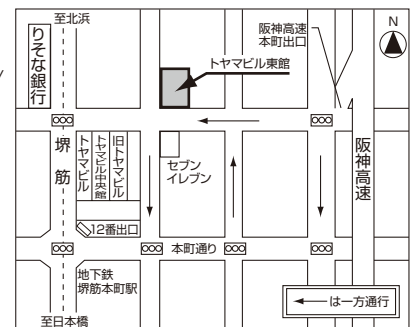
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp